

平成29年度 東部教育局主催ワークショップ

## 児童生徒が主体的に学ぶ授業づくり ～エキスパート教員からコツを学ぼう～

【ねらい】エキスパート教員から日頃の実践を直接聞くことで、児童生徒が主体的に学ぶ授業づくりのこつを学ぶ機会とする。

平成29年12月26日に開催しました授業改善ワークショップは、43名の参加者と14名のエキスパート教員による充実したものとなりました。エキスパート教員の授業への思いや実践、児童生徒との関わり方などについて話を聞いたり、実際に模擬授業を受けたり、教具の実物に触れたり、参加者の日頃の悩みに対して回答いただいたりと、たいへん有意義な時間となりました。



### <分科会の様子>

6つの分科会に分かれてワークショップを行いました。エキスパート教員2～3名が、一つの分科会を担当し、実践等を紹介してくださいました。参加者同士が意見交換しやすいように1グループ6～10名で編成しました。分科会によっては、エキスパート教員が実際に授業で使った教材や作成物などを持参いただき、参加者が手に取ってみることもできました。また、エキスパート教員に疑問点等を質問し、自分の課題を解決しようとする姿も多く見られました。参加者の感想を添えて各分科会の様子を紹介します。



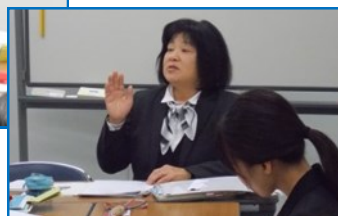
【分科会A】 小学校算数：佐藤 秀樹 教諭（智頭町立智頭小学校）  
中学校数学：神波 徹 教諭（鳥取市立東中学校）



#### <感想>

- ・今後の授業づくりのためになり、早く教材研究がしたくなる実践発表だった。
- ・まずは自分が楽しんで授業をつくること、生徒の心を掴むような題材や問題を取り入れることを考えさせられた。
- ・実際の授業実践のノウハウやポイントを教えていただき、「主体的な授業へ」変えていくためには、授業に向かう教師の姿勢が重要であることを再確認した。
- ・子どもたちが、授業を楽しみ、学ぶ意欲が出るような「しかけ」を作りたいと思った。

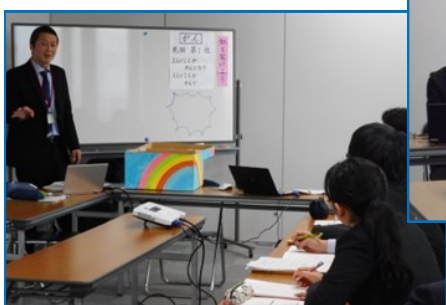
【分科会B】 小学校道徳：盛田 里美 教諭（若桜町立若桜学園小学校）  
小学校外国語活動：安田 美恵 教諭（鳥取市立東郷小学校）



#### <感想>

- ・エキスパートの先生方が、日々実践されていることやめあてと振り返りの仕方等、細かいことまで教えていただき、たいへん勉強になった。
- ・具体的な授業の工夫について教えていただいた。道徳では、「自分を見つめる」ことが大切だとわかった。
- ・後期後半から試してみたいことがたくさんあった。疑問をすぐに聞けてよかった。
- ・外国語は、まずは自分が教科書を読んで、英語を話す練習をしたいと思った。

【分科会C】 小学校道徳 : 中川 崇 教諭 (鳥取市立面影小学校)  
 小学校外国語活動 : 山根 裕子 教諭 (鳥取市立青谷小学校)



<感想>

- ・教材作りの仕方や意欲づけ、授業に引き込む指導法の工夫、教材の扱い方などについて具体的な実践をもとに説明されてよくわかった。
- ・質疑応答、情報交換が参考になった。
- ・授業で自分も実践したいと思えることがたくさんあった。
- ・中川先生の「ルールに乗せない発問」、山根先生の「外国語活動＝学級経営」という言葉が印象に残った。

【分科会D】 小学校音楽 : 梶田 祐子 教諭 (鳥取市立中ノ郷小学校)  
 小学校道徳 : 木原 一彰 教諭 (鳥取市立世紀小学校)  
 中学校美術 : 河本 俊顕 教諭 (鳥取市立青谷中学校)

<感想>

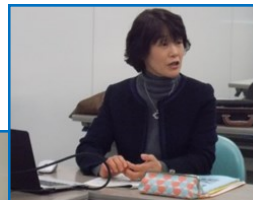
- ・明日からまねしたくなるようなワークシートの作成や授業の工夫がたくさん学べた。
- ・「できた！」と思えることの大切さを大事に教材研究をしたい。
- ・事前に質問していた内容以外にも様々な質問に対する回答があり、いろいろな視点で考えられたことがよかった。
- ・音楽、道徳、美術のお話から、どの教科もつながっていると感じた。



【分科会E】 小学校図画工作 : 野澤 真紀 教諭 (鳥取市立国府東小学校)  
 小学校特別活動 : 浅井 寛恵 教諭 (鳥取市立青谷小学校)  
 中学校音楽 : 鈴木 洋一郎 教諭 (鳥取市立千代南中学校)

<感想>

- ・少ない人数での分科会だったので、気になる部分についてしっかりと聞くことができた。
- ・学級会で決めるときに、お楽しみ会であってもめあてを立ててからゲームやイベントを話し合わせてみようと思った。
- ・図画工作科の評価、鑑賞の見取り方などを学ばせていただいた。
- ・ループブリックを子どもたちが作り、よりよい学級や行事、授業になっていくように仕掛けを作りたいと思った。



【分科会F】 小学校社会 : 土橋 和彦 教諭 (鳥取市立湖山小学校)  
 中学校音楽 : 大広 晴美 教諭 (鳥取市立北中学校)



<感想>

- ・改めて、教員自身の学びや教材研究の大切さを実感した。
- ・授業実践や理論について知ることができた以上に、教師としての在り方について考えさせられた。
- ・社会科で、知識の構造図を作ることで、WHY発問を使っていくことをすぐにもしてみたい。
- ・音楽も社会科も、事前の準備が大切だとわかった。
- ・4月は、学級経営で子どもたちにルールを確立させる大切な時期だとわかった。

東部教育局では、東部地区の先生方の授業力向上や授業改善につながる機会の提供、情報発信を今後も行っていきたくと考えています。本ワークショップは、エキスパート教員の先生方の協力を得ながら、来年度も開催いたします。ぜひ、参加していただき、一緒に主体的な学びへのこつ、授業改善のヒントを見つけましょう。

